

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぶっときっず			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日 ～ 2025年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 9日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・送迎がない事業所だからこそ、保護者の方と対面でお話しする機会を多く持てている。 ・事業所での療育内容の報告や、日々の生活でのお困り事を常に相談出来る時間を作っている。	・出来ない事ばかりにフォーカスをあてるのではなく、日々の出来た事や小さな気付きも保護者の方と共有できるように意識している。 ・児童だけではなく、保護者の方に寄り添える様に、いつでも相談が出来る環境を作っている。	・療育内容を共有すると共に、家で出来る事のバリエーションを増やして提案する。
2	・言語聴覚士が在籍しているので、専門性に特化した支援を行っている。	・月に1回の言語聴覚士の講師を招いた研修では、保育士や児童指導員も参加して、全体的な支援の質を上げている。	・保護者の方に、個別療育を見てもらう機会を増やす。
3	・スタッフ間での支援統一や、カンファレンスを大切にしている。	朝礼時や、終礼時に必ず個々に合わせた支援方法を共有し、その日の気付きや評価を共有している。	・新人スタッフにも発言しやすい環境作りを今後も意識して徹底する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・兄弟児支援や、ペアレントトレーニングの機会を作っていない。	・ペアレントトレーニングを実施出来る時間の確保が難しかった。	・少人数からペアレントトレーニングを実施する。
2	・事故防止マニュアル等の周知が不十分であった。	・契約時の説明と合わせて行っていたが、その時の説明のみでは、不十分だった。	・玄関に配置しているマニュアルファイルの再度周知を行い、ブログや掲示物で周知する等の配慮を行う。
3	・今年度は保護者会を実施していない。	・今年度は保護者会をする機会を作れなかった。契約人数に合わせた場所の確保が難しかった。	・希望者を確認し、人数制限や2部に分ける等工夫して実施を検討する。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		利用児童数		回収数	
ぶつときっず		4月21日		4月9日		22	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22				・活動するスペースは広く、他にも勉強するスペースや手洗いのスペースが区切られていて安心している。 ・幼児の運動療育スペース、個別療育のスペースもあり、十分だと思う。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17			5		職員配置が分かるような掲示等の工夫をさせていただきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22				・部屋の色々なところにイラストが貼ってあり、視覚的に分かりやすい配慮がされている。 ・広場、勉強場所、食事場所を理解しているのではないかなと思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22				・とてもきれい。 ・それぞれの活動に適していると思う。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22				・個別の訓練で学んだことが普段の生活に結びついていると感じる。 ・相談してすぐにアドバイスがもらえるため、十分理解してもらっていると思う。 ・集団、個別とも楽しんで活動させてもらっている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22				・あっていると思う。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22				・とても細かく支援計画を作成していた だき、家で家族と共有出来てありがた い。 ・計画はいいと思う	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22				・丁寧な説明があり、どのような目標を持って子どもと関わっているのかがよくわかる。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22				・出来ないことを出来るようにフォローしてもらっている。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22				・季節に合わせて様々なイベントや工作をさせてもらっている。 ・日によって活動は変えられている。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	4	11	・参加できていないが機会はある。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22				・丁寧に説明してくれた。 ・入会時に説明を受けた。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22				・分かりやすく丁寧に説明してくれた。 ・面談では支援計画に沿って説明してもらっている。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	4	5	6	・参加できていない。	ご家族の方にも参加していただけるような研修会などを検討させていただきます。

保 護 者 へ の 説 明 等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	22				・お迎えの時や連絡帳でその日の様子などをしっかり伝えてもらっている。 ・送り迎えの時に健康状態など確認してくれ、その日の様子も教えてくれる。 ・送迎時や連絡帳で子どもの様子や発達状況を伝えあっている。先生間で情報共有をしてくれているので共通理解は出来ていると思う。 ・入室時、退出時ともに気にかけてもらっている。 ・お迎えの時に、できたことを中心に報告してもらっている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21			1	・月1度面談をし、課題に対する助言や悩みについてしっかりヒアリングしてもらっている。 ・定期面談は行われている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22				・指導の時の子どもの様子はとても分かりやすい。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	4	15	・参加できていない。 ・兄弟がいないため。	保護者同士の交流の機会となるようなイベントの開催を検討させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20			2	・入会時より説明は受けている。	契約時に相談体制についての説明を丁寧にさせていただきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22				・毎回連絡帳に細かく記載してくれている。LINEでも画像送付してくれる。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18			3	・ブログ等で活動概要をいつも見ており、情報を取り入れている。 ・イベントのある時期は前もって連絡をもらっている。	引き続きブログで活動内容の紹介をさせていただくとともに、イベントの際にはその都度LINEや書面にてご連絡させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		7	・訓練しているのかわからない ・想定訓練の実施は分らない。 ・入会時説明を受けているが、ブログでも訓練されていた。	契約時にご説明させていただくとともに、ブログを通して訓練の実施報告をさせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		12		ブログを通して訓練の実施報告をさせていただきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			2	・まだ事故やけがをしたことがない。 ・嘔吐があった時、すぐに連絡をもらい迎えに行くことが出来た。	
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22				・大好きな場所になっている。 ・通所することが日常になり、楽しみにしている。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22				・嫌がることなく通えていて、子どもの表情からも楽しんでいるのだと思う。 ・いつも楽しみにしている。 ・行ける日をいつも楽しみにしている。 ・足取り軽やかに入室させてもらっている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	22				・子どもにも保護者にもいつも優しく丁寧に対応していただきありがとうございます。満足しています。 ・家や前の療育先では出来なかったことが出来るようになった。	

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		ぶっときっず		公表日			4月21日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		十分な広さがある		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		保育士や児童指導員、言語聴覚士を配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		個別療育で使用する部屋、集団療育で使用する部屋が分かれている 写真やイラストで視覚化されている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		掃除や消毒作業が明確に担当制になっている 活動に合わせて部屋を変えている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		毎日、朝礼時終礼時に目標と評価をスタッフ間で共有し、支援を統一している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		月に1度外部から言語聴覚士の講師を招き、研修をしている 外部研修に参加出来る機会を作っている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		モニタリングを通して保護者のニーズを確認し、日々の送り迎えや連絡帳の内容も反映させている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		カンファレンスの機会を作って、スタッフ全体で意見を出し合って作成している		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		共有した後にも、個人ファイルがいつでも確認できる体制を整えており、スタッフが随時確認出来る		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		視覚優位な児童には視覚支援ボードを用いて見通しが立てられる支援を行っている		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		スタッフ全員が立案に携われるように担当制にしている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節のプログラムを取り入れたり、大型連休時には活動を変えている		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝礼時に必ず、児童それぞれの支援内容を確認し、集団活動の担当、食事介助の担当の振り分け等確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		終礼時には、スタッフ間で意見や気付きを共有する時間を確保している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		個別療育の内容を毎回記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		サポートブック作成や、支援方法の共有をしている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		4		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		発達検査の結果を共有して頂き、スタッフに周知徹底している お迎え時に申し送りの時間をとっている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		その児童に合わせた支援方法等の共有のみではなく、研修の機会を検討する
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		日々の申し送り時に、同じスタッフのみではなく色々なスタッフが対応することで、保護者の方の話しやすさに繋げている	

保 護 者 へ の 説 明 等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		兄弟児が参加出来るイベント等検討する
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		ブログに活動内容を掲載している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		大切な確認は、文章で残すようにしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			